



平成 23 年 9 月 9 日

各 位

会社名 株式会社石井表記  
代表者名 代表取締役社長 金尾 尚明  
(コード番号 6336 東証第2部)  
問合せ先 取締役IR室長 江田 利幸  
(TEL 084-960-1247)

## 継続企業の前提に関する事項の注記についてのお知らせ

本日開催の取締役会において、平成 24 年 1 月期第 2 四半期の決算短信および四半期報告書における継続企業の前提に関する事項について、下記のとおり注記することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

当社グループは太陽電池ウェーハ事業におきまして、プロジェクトチームを立ち上げ、生産工場でのコスト削減となる技術開発と効率化を推進し、協力会社とともに設備の改良と生産技術の改善に取り組んでまいりましたが、市場環境の悪化が想定を超え、業績が大幅に悪化いたしました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間において太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の損失の計上に伴い、87 億 60 百万円の四半期純損失を計上するとともに 9 億 99 百万円の債務超過となっております。

これらの状況により、当社グループは、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消するため、以下の対応を進めてまいります。基本方針は、これからの日本において製造業として生き残り成長を遂げるために会社をスリム化し経営資源を有効に投入することにより、営業キャッシュ・フローを効率的に獲得し高付加価値の分野に投資を行える体質にすることです。

### 1. 収益性の改善へ向けた対応

#### (1) 不採算事業の縮小

平成 23 年 8 月 31 日に公表いたしました、「連結子会社の解散および清算に関するお知らせ」に記載のとおり、石井表記ソーラー株式会社の解散および清算を決議いたしました。その結果、太陽電池ウェーハ事業は大幅な縮小となりますが、今後の損益面では大幅な改善が見込まれます。

また、利益率の高い高付加価値製品に経営資源を集中するために、全社的に不採算事業の見直しおよび改善を実施してまいります。

#### (2) 組織再編と経費の圧縮

取締役の経営責任の明確化として、平成 23 年 8 月 31 日開催の当社臨時取締役会および監査役会において取締役および監査役全員より、就任から当第 2 四半期連結会計期間末までの在任期間に係る退職慰労金の受取辞退の申し入れがあり、その旨を決議いたしました。また、同時に平成 23 年 8 月以降の在任期間に係る退職慰労金の支給についても当面凍結する旨を決議いたしました。それに加えて、取締役の役員報酬の減額および減員を実施してまいります。また、組織の見直しと集約による効率化を図ることを目的として、営業所の統廃合の実施により組織をスリム化し、ワークシェアを実施し固定費の圧縮を図ってまいります。

## 2. 財務体質の強化へ向けた対応

### (1) 有価証券および遊休資産の売却

当社グループの所有する有価証券および遊休の土地、建物、設備の売却を行い、財務体質の強化を図ります。

### (2) 金融機関等への支援要請

当面の資金の安定化を図るため、主要金融機関に対し、新規資金の融資を要請しております。また、既存借入金およびリース債務の返済条件の緩和についても、協力を要請中であります。

上記改善策の具体的な内容については現在策定中であり、確定次第速やかに開示いたします。

しかしながら、上記の対応策をとるものの、これらの対応策の展開は実施途上であり、今後の経済情勢並びに金融情勢によっては当初予定した計画通りに推進できない可能性があるため、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

以 上